

平成25年度 地域づくり委員会 会議記録から

自治会	ジャンル	課題・悩み など
十林寺	高齢化	高齢者が多く、いきいきサロンには多くの人が集まる。健康講座・健康体操等で盛り上げたい。
入軽井沢	高齢化	近所のお年寄りに「特定健診に行っているか？」と聞いたら「車がないから行けない」「80過ぎたら希望もしない」と言われた。受診率を上げようと目標を高くもっても、方法を考えないと。 例えば、市がバスで送迎して健診へ連れて行くとかすれば受診率上がる。目標を立てるだけではダメ。 選挙も同じ。行く気があっても車がないから行けない人多い。人に頼んで連れて行ってもらうのは気が引ける。頼みに行かなくても気持ちよく行けるようにできないか？ 自治会の中でボランティアを募って6~7人乗せていくとかすればいい。自治会事業として取り入れていけばいい。慣例で乗せてもらうときに千円とか払っているが、それを予算つけて自己負担無ないようにすればいい。まず入軽がやって他へ波及していけばいい。
萩	高齢化	自治会内にアザレアンさなのグループホームができ、福祉推進委員と訪問したりしている。しかし、自治会内で人を偏見するような言葉を聞くこともあり、施設について理解できていない人もいるように感じるのでサポーター養成講座を開催し理解を深めたいと思う。
田中	高齢化	少子高齢化が進んでいる中で、福祉推進委員が、高齢者への対応に悩んでいる。 有事の時に駆けつけても、迷惑がられるのではないか。 「災害時住民支え合いマップ」を利用することはできないか。災害時だけでなく普段の生活にも活用できるようにしてもらいたい。 また独居老人の対応については、近所の方の協力が必要なのではないか。そういうお互いに助け合う田中の雰囲気づくりをしていかなければならない。
田中	高齢化	自治会の役員については、中間層の人がいない現状をふまえ、役員OBの意識を変えてもらい、1回やれば終わりではなく、2回3回と何回でもやる意識をもってもらいたい。
下郷沢	高齢化	福祉委員で活動をしているが、高齢化に伴い出席する方に偏りが出ている。活動を行っている担い手研修センターが近くにあるため歩いていけるが、遠くの方は送迎が必要。
穴沢	少子高齢化	自治会内に中高生がいない。小学生は3名いるが、高齢化が進んでいる。
上原	少子化	現在小学生は8人。上原で生まれた子どもが将来上原に戻って子育てしてくれれば良いと思うが、現実はそのようではない。でも、地域には活動的な高齢者もいる。
上原	人口の減少	自治会の人口が増えるよう、新しく道を作り宅地を造成することはできないだろうか。いろいろな問題があり難しいだろう。
赤井	人口の減少	健康推進委員の選出について、赤井自治会は2名選出している。真田地域の平均は57軒に1名。戸数割合からすると多いので1名にしてもらいたい。
真田	世帯数及び人口の減少	自治会の戸数が減っている。減らないようにする対策はあるのか。人口増となる政策を考えて欲しい。
穴沢	消防団員減少 防災	消防団員も減少しており、今まで以上に予防消防に努めなければならない。
下郷沢	消防団員の不足	消防団員が不足している。(下郷沢は現在3名)自治会で自主防災できるよう、18~40歳ぐらいの方が近所にいたら、声をかけてほしい。参加者からは、いくつかの情報が出された。
田中	空き家	自治会員の減少により、空き家が増えてきている。空き家の樹木の害虫について苦情がある。市でも防犯、防災の点では話し合いがもたれているが、このような苦情についての対応についてはではない。現段階での対応については自治会長を通じて、持ち主に連絡し依頼をするしかない。
入軽井沢	定住化促進	空き家は何件もある。このまま行けばもっと減る。何とか住民を増やしたい。高齢化になれば足(交通手段)も必要。バスも必要だが、乗らなければ廃止になってしまう。他の自治会と共同でやっていくということも必要。
大日向	廃屋対策	現在所有者の分からない廃屋が幾つかあり倒壊の恐れがある。隣接では高齢の夫婦が住んでいる家庭が多く、倒壊すると隣の家を押しつぶしてしまう恐れがあるため、安心して暮らせるような方策はないか。

平成25年度 地域づくり委員会 会議記録から

自治会	ジャンル	課題・悩みなど
つくし	公共交通	この計画が3年経って終わってしまえば、場合によっては減便や廃止になり困る人が出てくる。そこで、去年も提案したが、赤坂地域で実施しているように対象地域の各戸で一定の額を負担してその分乗車券を配布したらどうか。 自転車です市内に下る人もいるので、帰りだけでも自転車と一緒に乗せてくれれば利用者が増えるのでは。
四日市	公共交通	循環バスとの接続がよくなければ利用は伸びない。(上田医療センター・アクアプラザ等) 上田医療センターへ行きたい場合、こちらから行って降りるバス停と、医療センターへの路線の乗り場となるバス停が離れすぎており、改善されないと足の悪い人は使えない。
曲尾	公共交通	バスの低運賃はありがたい。ただ、日曜・祭日の運行本数が少ないので増やして欲しい。市内を走る大型バスは、小型化を図ったらどうか。
下郷沢	公共交通 交通弱者対策	路線バスの運行について、土日のみ、観光地を循環するバスを運行したらどうか。また、それを利用して交通弱者の足になるように路線をくんだらどうか。
十林寺	生活環境	地域の距離が広いのに人が少ないので熊やイノシシをよける柵を設置するにもできない。自治会単位では難しい。広域的にやってもらえるといい。
菅平	農地開発事業	菅平での農地開発が困難な状況であることから、菅平以外の地区の遊休農地を野菜生産用に使っている。そのほとんどの土地が圃場整備済の農地であり、多額の税金を投入して整備した水田である。水田用に整備された土地は、耕土が薄く、基盤は礫混土で、地下排水不良な場所も多く、耕作困難となってしまうケースが多い。土地改良が必要な土地が存在する地区の問題として、石礫除去や暗渠排水などの土地改良事業について検討が必要。
荒井	行事の見直し	行事の見直しについて、毎年検討するといいいながら一向にされていない現状がある。時代の変更と共に行事の見直しをしてほしい。 全体にいえることだが、参加者は役員のみ。 また、分館長会で出された意見はどうなっているのか。意見が活かされていない。教育事務所はどう扱っているのか。明白にして欲しい。 行事の日程を変更する場合は1年前には(12月までに)、通知して欲しい。